

テーマ別に3つのコミュニティ施設を開設  
新たな来街者を生み出すことに成功

## 大和高田商工会議所

機関名	大和高田商工会議所		
所在地	奈良県大和高田市大中106-2		
電話番号	0745-22-2201		
地域概要	(1)管内人口 74千人	(2)管内商店街数 11商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 3商店街	(2)会員数 89商店	
	(3)空店舗率 約18%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（高齢者等交流施設）

・複数のコミュニティ活動の拠点を  
開設・運営

総事業費

6,000千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

大和高田市は、奈良県の北西部、大和盆地の南西に位置する人口7万4千人の都市である。古くから難波（大阪）と明日香を結ぶ交通の要衝としての役割を果たすとともに近年では、地場産業として繊維や靴下、履物などの工業が発達してきた。

一方、大和高田市の中心市街地においては、モータリゼーションの進展など商業環境の変化の影響を受けて空き店舗が増加し、商店街の機能の衰退が顕在化してきている。

このような状況を受け、本事業では市民の参加・市民との協働・市民との連携を念頭に入れた「市民が活動・参加するコミュニティ活動スペース」を商店街内の複数箇所に設置・運営することで中心市街地の活性化を図ることとした。



大和高田市の位置（大和高田市役所HP）

#### 2. 事業内容

中心市街地にある商店街内の空き店舗を活用し、それぞれ異なるテーマを持ったコミュニティ施設を3ヶ所設置・運営したほか、PR活動の実施や合同イベントの開催、利用者の意

## 大和高田商工会議所

識調査を実施した。

### (1) 実施体制

大和高田商工会議所（TMOにぎわい大和高田）が事業実施の主体となり、予算管理や拠点の借上げを行った。また、商店街コミュニティネットワーク事業推進委員会を設置し、事業全体の計画立案・事業推進を行うとともに、各拠点の計画立案・事業推進に際して調整の役割を担った。商店街は、各拠点の実質的な運営主体となって事業の管理・運営を行った。

### (2) コミュニティ施設の設置・運営

#### ① 天神橋エコプラザ

所在地	大和高田市本郷町 2-20 (天神橋商店街内)
面積	43 m <sup>2</sup>
テーマ	「環境及び省エネ省資源」をテーマとし、市民、市民団体、企業等のコミュニティ活動を支援する。
利用内容	リサイクルショップの開設 フリースペースの開設 ・街角健康チェック（月に1回） ・まちづくりのボランティア団体による利用 エコシアター（ミニシアター）の開設
利用者数	延べ約 1,500 名



天神橋エコプラザ  
(大和高田商工会議所HP)

#### ② 片塩市民活動サロン

所在地	大和高田市片塩町 13-15 (片塩駅前商店街内)
面積	50 m <sup>2</sup>
テーマ	「市民の集いの場」をテーマとし、市民、市民団体、企業等のコミュニティ活動を支援する。
利用内容	商品の委託販売 竹細工、ガラス細工、帽子・手袋、自然食品 喫茶サロンの開設 来場者に無料でお茶を提供したほか、抹茶セット、フルーツみつまめ、ぜんざい等の販売を行った 集会場として活用
利用者数	延べ 2,400 名



片塩市民活動サロン  
(大和高田商工会議所HP)

③片塩カルチャーセンター

所在地 大和高田市片塩町7-14 サニー片塩  
(片塩本通商店街内)

面積 140㎡

テーマ 「カルチャー・文化活動」をテーマとし、市民、市民団体、企業等のコミュニティ活動を支援する。

利用内容 カルチャー教室の開催  
ハワイアン教室、小学生工作教室、  
中学生英語教室、パッチワーク教室、  
ゴスペル教室等  
ギャラリーの開設

利用者数 延べ600名



片塩カルチャーセンター  
(大和高田商工会議所HP)

(3) PR活動の実施・合同イベントの開催

①PR活動の実施

コミュニティ施設をPRするために、チラシの配布・ポスターの掲示を行った。

・チラシ広告

10月15日号の市政だよりにより折り込み、市民活動団体への郵送

部数 33,000部

・ポスター

中心市街地内商店街および主要施設に掲示

部数 50部



イベント案内チラシ

②合同イベントの開催

コミュニティ活動スペースの存在をアピールして利用を促すとともに、3拠点の連携を密にし、ネットワーク化を図ることを目的にイベントを開催した。

開催日 平成16年1月17日(土)～25日(日)

名称 学ば。遊ば。お買い物。「にぎわい大和高田おもしろウィーク」

内容 天神橋エコプラザ：リサイクルショップ、古本市  
片塩市民活動サロン：竹細工の実演、おりがみ教室、さをり織の体験、  
マンドリンミニコンサート他  
片塩カルチャーセンター：ギターコンサート、寄席、ハワイアン教室、  
写真展、オカリナ作り、片塩歴史話他

(4) 利用者意識調査の実施

利用形態・事業の評価・今後の要望等をアンケートによって調査し、本事業の効果を測定するとともに、今後の事業展開の資料として活用することを目的に利用者の意識調査を実施した。

実施期間	平成 16 年 1 月 17 日（土）～2 月 13 日（金）
対象	コミュニティ施設 3 ヶ所とほんまちコミュニティホールの利用者
方法	調査票を 4 施設に常備して利用者に記入を求め、回収箱にて回収した
内容	属性、利用目的、利用形態、施設の評価、今後の要望、その他
回収数	4 箇所合計 148

【 効 果 】

1. 近隣商店街への効果

近隣商店街へ事業の効果が波及し、3 施設が位置する商店街以外でも、これまでなかった後継者の会（青年部）ができるなど、新しい活動が始まるという例が散見された。

2. 来街者の行動

3 施設を利用した人の中には、それまで商店街を利用したことがなかった人も多く、コミュニティ施設が新たな来街者を生んでいる。

3. 市民との連携のきっかけ

本事業において商店街に賑わいをもたらすのに十分な成果が上がったとはいええないものの、今後、市民と連携して活動していく上でのきっかけを作ることができた。

4. 市民に向けての話題作り

商店街自らが情報発信を行うとともに新聞やテレビなどに紹介された結果、「大和高田が騒がしい」、「最近大和高田で何かやっているらしい」など、市民にとって気になる存在になり、話題を提供できた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 人的体制

本事業を継続させるためには、商店街が自主的に運営していく体制を整えることが必要である。市民団体等と協働しながら、また商店街のメンバーと役割を分担しながら自主運営をしていくことが求められる。

2. 事業実施のノウハウ

3 施設がそれぞれにテーマを持って運営しているものの、現状ではテーマを十分に絞り込めていないため、利用頻度があまり高くない。今後は施設ごとの性格を明らかにしてテーマに沿った活動を行っていくことで利用者の利便性を図るとともに、施設間の役割分担を明確にしていく。

3. 市民団体との協働

本年度において市民団体等との連携を目指したが、ほとんど成果をあげることが出来なかった。今後は、市民や市民団体との協調・協働に重点的に取り組んでいく。

**【事業の実施ポイント】**

事業を成功させるためには、施設の開設に際して「何のために、何を目的として開設するのか」を商店街関係者に対して周知徹底することが重要である。

**【関連URL】**

大和高田商工会議所 <http://www.yamatotakada-cci.or.jp/>